



後期後半がスタート！

新年明けましておめでとうございます。
令和最初の新年を迎え、後期後半がスタートしました。昨年は、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。



後期後半の開始に当たって、各学級の黒板には、先生方の子どもたちへのメッセージが書かれていました。それを目にした子どもたちは、それぞれに決意を新たにしていたようでした。併せて、昨年あたりから教室の床がとても滑りやすくなっていたので、この冬休み期間に大中の職員の木佐貫さんに電動ポリッシャーで古いワックスを剥ぎ取っていただき、全職員で各教室の床にワックスを塗りました。ピカピカになった教室の床の輝きが、子どもたちを清々しい気持ちにさせてくれたようでした。

新しい年の始まりの1月ですが、学校生活においては1年のまとめの大切な時期になります。これから季節は「小寒」から「大寒」へと1年で最も寒い時期を迎えます。寒さに負けず、元気にこの季節を乗り切り、進級・進学へ向けての準備の後期後半が有意義で充実した活動となるよう、目標をもって取り組ませていきたいと思ひます。



○冬休み明け集会

8日、子どもたちは、朝の挨拶運動でお越しいただいた方々に挨拶をしながら、全員元気に登校し、そろって冬休み明け集会を行いました。集会では、これから始まる後期後半の3か月はあっという間に過ぎてしまいます。だから、目標をもって、1日1日を大切に過ごしていくこと。この1年の「3アップ運動」の総仕上げの時期を迎え、「学力アップ」では、図書の出借冊数の達成率を100%にすること、各学年決められた家庭学習の時間を意識して毎日取り組むこと。「体力アップ」では、今月の22日に実施される「なわとび大会」に向け、練習に取り組みながら、寒さに負けない体づくりに努めること。「マナーアップ」については、挨拶・返事を徹底して、明るく、元気に過ごすこと、を話しました。

○読書に親しむ習慣を…

この冬休みも、計画的に読書に取り組んでほしい、ということで、一人10冊の本の出借を行いました。目標の年間貸出冊数4千冊へ向け、ただ今、3,702冊です。機会あるごとに、子どもたちには目標達成に向け、本を借りるように呼びかけています。ただ、自分の興味のない本であったり、難しすぎると感じる本であったりするのを無理やり読ませると、返って読書嫌いを招く結果になりかねません。自分の意思で選び、それぞれ自分の読解力に合ったレベルの本に親しみ、徐々に自分の成長に合わせてレベルアップしてくれたらと思います。「読書をたくさんすることで読解力が上がる」という因果関係があることが示唆されています。読書が言語能力に関する脳の神経回路の発達にも影響があるとのこと。子どもたちの読書への意欲・関心を高める取組を充実させるなどしながら、読書に親しむ習慣が身に付くようにしていきたいと思ひます。 【読書スタンプラリー 全員達成！】



<複式授業の実践から>

本年度、「学びに向かう力を身に付けた子どもの育成」を研究のテーマに掲げ、複式学級における算数科の授業づくりの充実を目指して、校内研究に取り組んでいます。一人一人の学力を定着させるために、「めあて」を明確にし、自分の言葉でまとめをさせたり、主体的・対話的な学びにするために、学習の流れや仕方を示したり、対話による課題解決を図ったりしています。その他、座席や黒板の配置など教室環境づくりも工夫しています。

昨年の11月に行った研究授業(1・2年)では、集中して学習ができるように座席の向きを変えて、黒板の配置を工夫したり、移動黒板や小黒板を活用したりしました。こうした教室環境づくりを工夫することも複式授業をするに当たって大切な要素になってきます。これからも更なる授業実践を重ね、複式授業の充実を図り、学びに向かう力を一人一人に身に付けさせていきたいと思ひます。

